

成長赤子 成長赤子

上巻から巻末

CS異動者の謎

気がいいでいいる！

素直に学び、改める姿勢

Kさんは、異動してきた当初、得意先と対話する際に専門用語を多用し、得意先がついていけない場面があったため、わかりやすく話すように促した。

本人は素直に改める努力をし、得意先と積極的に対話しながら「デジタルについて丁寧に教えてくれる人」として信頼されるようになっていった。

スタッフの立場に立って、 一緒に考え抜くことができる

Kさんは、自ら得意先の店舗に足を運んでその結果をCRスタッフに報告するなど、できることを見つけて動き、スタッフと一緒に企画を考え抜ける強みがある。「Nさんのためならやる」というCR職もいる。いい営業になれると思う。

挑戦と守りのバランスの良さ

メンバーには指示されたことをミスなくきっちりこなすタイプと、新しいことにどんどん挑戦していくタイプがいるが、〇さんは非常にバランスがいい。

きっちりやるべきことをこなす堅実さと、面白いと思ったら踏み込む挑戦的な姿勢を併せ持っている。

深く掘り下げて考え、やり切る力

Nさんは与えられた仕事に対し、その年次とは思えないレベルで深く掘り下げて考え、高いレベルでやり切る力を持っている。与えられたものを常に全力でやる姿勢が、成長につながっている。

実直な学習姿勢

Aさんは「前提がわからないと前に進めない」という慎重な性格だが、それは物事を深く正確に理解しようとする姿勢の表れ。実際に自分にわからないことは積極的に質問してくる。

結果として、短期間でTVスポットはチームリーダーより詳しくなるほどの専門性の獲得につながった。

強い向上心、負けず嫌い

Aさんは優秀で負けず嫌い。自分のやり方のよくなかった点を指摘されると悔しがる。一方で、「次は絶対に同じ失敗をしない」という強い向上心が、Aさんの成長の原動力になっている。

3

1





最後にて



自分の意思と与えられた環境との掛け合わせで生まれる成長を楽しむ

目指したいキャリアゴールのイメージを持つことは大事ですが、キャリアは、担当することになった得意先や仕事内容、上長、チームなど様々な変数が掛け合わさって形成されていきます。大きな方向性を持ちながらも、与えられた環境や偶然の出会いとの化学反応を楽しむ気持ちで挑戦していきましょう。



異動先の上長・チームとの“相互理解”を大切にする

異動者の約7割が異動後に一時的な戸惑いや落ち込みを経験していますが、これは本人の能力の問題ではなく、主に初配の環境とのギャップが原因です。受入れ先の上長やチームに、できるだけ、あなたの初配での経験や仕事の仕方、新しい環境のどこにギャップを感じているかを伝えましょう。その方が受入れ側も適切なサポートを提供しやすくなります。

成長のことを考えられないときも、ちゃんと成長している

異動後しばらくは、新しい知識やツールの使い方を覚えたり、新しい人間関係を築くことに必死で、成長を実感するのは難しいかもしれません。でも目の前の小さな壁を一つひとつ突破することや、新しいタイプの人を知ること、あなたの経験の幅を広げています。時間をおいて振り返ったとき、きっと何らかの学びや自分自身の変化を見出すことができるでしょう。

3

2



自分の意思と与えられた環境との掛け合わせで生まれる成長を楽しむ

目指したいキャリアゴールのイメージを持つことは大事ですが、キャリアは、担当することになった得意先や仕事内容、上長、チームなど様々な変数が掛け合わさって形成されていきます。大きな方向性を持ちながらも、与えられた環境や偶然の出会いとの化学反応を楽しむ気持ちで挑戦していきましょう。